残響は鳴り止まず

残響は鳴り止まず 胸に残る 記憶に縋ることだけ 上手くなってしまった

回聲響而不絕 留於心中 沉溺在記憶中這一點 卻變愈發熟練了

光降る 平穏に誘われて 窓から見える いつもの後ろ姿を探した わかってる

陽光灑落 誘向平穩日常 從窗沿看去 探尋一直在那兒的背影 我明白的

並不是再也見不到了

也不是妳要永遠消失了

和過去相比唯一不同的一

会えなくなるわけでも無 くて 君が消えてしまうことも 無い

> 點 是得知了「答案」這堵看 不見的牆

「答え」が知らせた見え ない壁

過去と違うことは一つ

残響は鳴り止まず 胸に残る 元の形が消えても

哀しみは消えません

回聲響而不絕 留於心中 就算已經沒有了原本的形 狀 悲涼還是不會消失 綺麗だった音色も 濁っていた あのドアを開けなければ 知らずにいられたのに 曾經清澈的音色 也變得渾濁 沒打開那扇門的話 明明還能繼續不知情的

ぎこちない 新たな二人の距離 何を話せば いいかも分からなくなる なんてね わかってる 生疏而尷尬 兩人間新的距離 該說什麼 已經不知道如何說了

我明白的

もう昔の二人では無い むしろ「二人」という表 現も 私の中で生み出した 元々滑稽な絵空事

已經不再是從前的兩人了 不如說「兩人」這種說法

也只是我憑空想出的原本就很滑稽的白日夢

後悔は行動の 証という けれど実らぬなら そう 意味が無い それが恋 如果說後悔是行動的 証據的話 反過來如果沒有結果的話 是的 就沒有意義 這就是戀

美しく散りたいよ 格好悪いよ 一人ですすり泣く日々 残響に混じるだけ

好想完美地消失啊 現在好尷尬啊 一個人悽悽落淚的每天 只是融入在回聲中

誰にも言えない感情 言えぬどころか増してい くから もう一度だけ駄目でしょ 再最後重來一次不行麼? うか? この気持ちは迷惑でしょ うか? 聞けないよ

對誰也無法啓齒的感情 因爲不能說所以更難過

這種心情會讓妳困擾麼?

狺沒法問啊

残響は鳴り止まず 胸に残る 元の形が消えても

回聲響而不絕 留於心中 就算已經沒有了原本的形 狀

悲涼還是不會消失

哀しみは消えません

牛き甲斐だった君が ここにいない このドアを開けなければ 知らずにいられたのに

妳原本是我活下去的動力 現在卻不在了 如果沒有打開這扇門的話 明明環能繼續不知情的

残響に混じるだけ

一人ですすり泣く日々 一個人悽悽落淚的每天 只是融入在回聲中

照例左側註音,右側解釋字詞。

ざんきょう な

残響は鳴り止まず

ざんきょう

残響:中文似乎應該叫 混 響 ,和回聲有點關係但是 又不是同一回事。這裏翻 譯成回聲似乎也沒什麼問 題。

むね のこ

胸に残る

きおく すが

記憶に縋ることだけ

すが

縋る:作爲依靠緊緊抓住 某物,這裏就是以記憶爲 救命稻草的感覺。 還有一 層引申義是對佛神祈願。

うま

上手くなってしまった

ひかり ふ

光降る

へいおん さそ

平穏 に 誘 われて

まど

窓から見える

うし すがた さが

いつもの後ろ姿を探した わかってる

きれい

きたい

綺麗 だった 音色 も

きたい

音色:一般音色讀作ねい ろ或者おんしょく,這裏 寫音色讀作きたい, 懷疑

是表達「気体」。

にご

濁っていた

あ

あのドアを 開 けなければ

L

知 らずにいられたのに

ぎこちない

ぎこちない:荒涼的様 子,悲涼的様子,蕭條的 様子。

あら ににん きょり

新たな二人の距離

なに はな

何を話せば

わ

いいかも 分 からなくなる なんてね わかってる

むかし ふたり

もう昔の二人では無い

に にん

ひょうげん

むしろ「二人」という表現も

わたし なか う だ

私の中で生み出した

もともと こっけい えそらごと

元々 滑稽 な 絵空事

```
こうかい こうどう
後悔 は 行動 の
あかし
証 という
     みの
けれど 実 らぬなら
```

いみ そう 意味が無い

こい

な

それが 恋

うつく ち 美 しく 散 りたいよ かっこ わる

格好 悪 いよ

ひとり ひび 一人 ですすり 泣く 日々 ざんきょう ま 残響に 混じるだけ

直譯:好想美麗地凋謝啊

かっこ わる

格好悪 い:不帥氣,很 衰,很囧

だれ い かんじょう

誰 にも 言 えない 感情 い ま

言 えぬどころか 増 していくから いちど だめ

もう 一度 だけ 駄目 でしょうか?

きも めいわく

この 気持 ちは 迷惑 でしょうか?

聞 けないよ

ざんきょう な や 残響は鳴り止まず むね のこ 胸に残る もと かたち き 元の形が消えても かな き

哀 しみは 消 えません

いがい きみ

ここにいない

このドアを 開 けなければ

知 らずにいられたのに

い がい

牛き甲斐だった君が 生き甲斐:活下去的价 值,活下去的目的

ひとり な ひび 一人 ですすり 泣く 日々 ざんきょう ま 残響に混じるだけ